



# てらるる



2016年  
**9**月  
No.825

■発行所 ■  
日本福音ルーテル教会事務局広報室  
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1  
電話 03-3260-8631

■ウェブサイト ■ <http://www.jelc.or.jp>  
■E-mail ■ [jelc@jelc.or.jp](mailto:jelc@jelc.or.jp)

■発行人 ■ 安井宣生 koho06@jelc.or.jp  
■印刷人 ■ 精文堂印刷株式会社  
■定価 ■ 1部 40円 (郵税を含む)  
■振替口座 ■ 00190-7-1734

## 説教 「だいたいようぶ だいたいようぶ」

日本福音ルーテル静岡教会 牧師 富島裕史

主は羊飼いで、わたしには何も欠けることがない。主はわたしを青草の原に休ませ、憩いの水のほとりに伴い、魂を生き返らせてくださる。主は御名にふさわしく、わたしを正しい道に導かれる。死の陰の谷を行くときも、わたしは災いを恐れない。あなたがわたしと共にいてくださる。あなたの鞭、あなたの杖、それがわたしを力づける。(詩編23・1〜4)

詩編23編は、わたしたちが、いつもくちずきみ、味わい、その度に力づけられる詩であると思います。「主は(わたしの)羊飼いで、わたしには、何も欠けることがない。主は、わたしを青草の原に休ませ、憩いの水のほとりに伴い、魂を生き返らせてくださる。」

詩編23編は、わたしたちが、いつもくちずきみ、味わい、その度に力づけられる詩であると思います。「主は(わたしの)羊飼いで、わたしには、何も欠けることがない。主は、わたしを青草の原に休ませ、憩いの水のほとりに伴い、魂を生き返らせてくださる。」

詩編23編は、わたしたちが、いつもくちずきみ、味わい、その度に力づけられる詩であると思います。「主は(わたしの)羊飼いで、わたしには、何も欠けることがない。主は、わたしを青草の原に休ませ、憩いの水のほとりに伴い、魂を生き返らせてくださる。」



『みんな、絵本から』(講談社) という本の中で、幼いころに読んだ絵本が、悲哀や辛苦の人生経験と重なって、病いや老いのときに、その絵本が深い癒しを与えてくれると言います。

実は、わたしにも、その

『みんな、絵本から』(講談社) という本の中で、幼いころに読んだ絵本が、悲哀や辛苦の人生経験と重なって、病いや老いのときに、その絵本が深い癒しを与えてくれると言います。

実は、わたしにも、その

『みんな、絵本から』(講談社) という本の中で、幼いころに読んだ絵本が、悲哀や辛苦の人生経験と重なって、病いや老いのときに、その絵本が深い癒しを与えてくれると言います。

実は、わたしにも、その



飼いがわたしと一緒にいてくれるという信頼を持ちながら歩んでいくのです。きつとそこには、「だいたいようぶ、だいたいようぶ、主と共にいてくださるから」と語りかける仲間がいたことでしょう。「ぼく」がおじいちゃんから「だいたいようぶ」を聞き、「ぼく」がおじいちゃんに「だいたいようぶだよ」と声をかける。これが、大切なことだと思います。

この詩人は、平穏な日々の中で神さまへの信頼を歌ったのではないようです。現実の状況は「死の陰の谷」を歩み、「わたしを苦しめる者」が前にいるのです。しかし、それでも羊

飼いがわたしと一緒にいてくれるという信頼を持ちながら歩んでいくのです。きつとそこには、「だいたいようぶ、だいたいようぶ、主と共にいてくださるから」と語りかける仲間がいたことでしょう。「ぼく」がおじいちゃんから「だいたいようぶ」を聞き、「ぼく」がおじいちゃんに「だいたいようぶだよ」と声をかける。これが、大切なことだと思います。

この絵本を見たのは私の父が亡くなった後でした。「ぼく」がおじいちゃんの手を握り、「だいたいようぶだよ、おじいちゃん」という場面では涙が止まりませんでした。

友人から送られてきた手紙に、作者不詳の詩が紹介されていました。「主よ、あなたが、あの人のことを、引き受けてくださいますから、一切をお任せいたします。私の力ではなく、あなたの力で、私の知恵ではなく、あなたの愛で、私の知恵ではなく、あなたの知恵で、お守りください。主よ、抱きしめてください。私の代わりに。」

この詩の「あの人」とはだれのことでしょうか。「ぼく」としては、入院しているおじいちゃんでしょう。わたしたちにも、主に委ねるべき「あの人」がいることではないでしょうか。わたしたちの生き方、だいたいようぶ、だいたいようぶ、よ」と呼びかけあう。そこに主の羊たちの群れの姿があるのです。

主イエスは、神の国を「成長するからし種」にたとえられました。神の国とは、小さなからし種が成長し、葉の陰に空の鳥が憩える場所ができるようなものだ、と。「み国が来ますように」と祈る私たちは、からし種のような声に耳を澄ます者でありたい、と思います。

連載コラム  
**en chu**

⑥【Democracy】

野村修也さん(中央大法科大学院教授)の書かれた東京新聞のコラム「多数決のパラドックス」(2014年2月19日)を紹介いたします。「こんな問題もある。5階建てのマンションで、エレベーターの改修費が議論となった。普段エレベーターを使わない1階の住民は負担を拒んだが、5階の住民は均等割を主張した。多数決で決めることになり、過半数ではしこりが残るので5分の4が賛成する案に従うことになった。一見良さそうだったが、腹を立てた5階の住民の提案と、負担したくない他の住民の思惑が合致し、1階の住民だけが負担する案に5分の4が賛成したという。笑えない話だ。多数決の結果が常に正義とは限らない。」

野村修也さん(中央大法科大学院教授)の書かれた東京新聞のコラム「多数決のパラドックス」(2014年2月19日)を紹介いたします。「こんな問題もある。5階建てのマンションで、エレベーターの改修費が議論となった。普段エレベーターを使わない1階の住民は負担を拒んだが、5階の住民は均等割を主張した。多数決で決めることになり、過半数ではしこりが残るので5分の4が賛成する案に従うことになった。一見良さそうだったが、腹を立てた5階の住民の提案と、負担したくない他の住民の思惑が合致し、1階の住民だけが負担する案に5分の4が賛成したという。笑えない話だ。多数決の結果が常に正義とは限らない。」

第24回 全国ディアコニア・セミナー  
テーマ「和解〜キリストにおける愛と平和を学ぶ」

日時: 2016年10月9日(日)16時〜10日(月)15時  
会場: 10月9日/健康教会(熊本市)、10月10日/水俣スタジアム

おまなプログラム: <健康教会にて> 開会礼拝(小泉基牧師)、学び①「響きあう者たち〜和解から和解へ」(小副川幸孝牧師)、学び②「和解を正義による再生と希望の連鎖: 水俣と福島が出会い、熊本へつなげられる希望」(石原明子さん/熊本大学)

<水俣にて>水俣の資料館と水俣病の史跡めぐり。水俣の食料・味を通して水俣の哲学を体感。語り部のお話し。

参加費: 1,000円。スタディツアーバス代3,000円(健康教会までの交通・宿泊は各自手配、合わせて食事なども自費)

申込み締切り: 9月30日

申込み・問合せ: ディアコニア・ネットワーク代表 谷川卓三(三原教会・福山教会) 詳細は、以下のURLへ <http://goo.gl/rGg0RX>



議長室から

けが「敬老」と「敬う」という言葉が添えられていいます。成人と子どもにも「敬う」という言葉を添えるべきだと思いますが、なぜこの日だけが「敬老の日」なのか、色々な意図を思い巡らすのです。

日本の平均寿命は世界でもトップクラスで、「高齢化社会」という言葉が定着しています。最近「下流老人」なる新語まで登場していますが、これらの言葉からはあまり好意的な印象が響いて来ないの私だけではないでしょう。「高齢化社会」という言葉が語られる時にはいつも年金や医療費問題に象徴されるように、国の財政をひっ迫させている負の部分に強調されがちだからです。

では、教会ではどうでしょう。教会員や礼拝出席者の年齢構成を見れば、

## 教会の「敬老の日」

総会議長 立山忠浩

で語られる時にはいつも「敬老」と「敬う」という言葉が添えられていいます。成人と子どもにも「敬う」という言葉を添えるべきだと思いますが、なぜこの日だけが「敬老の日」なのか、色々な意図を思い巡らすのです。

では、教会ではどうでしょう。教会員や礼拝出席者の年齢構成を見れば、

「敬老」と「敬う」という言葉が添えられていいます。成人と子どもにも「敬う」という言葉を添えるべきだと思いますが、なぜこの日だけが「敬老の日」なのか、色々な意図を思い巡らすのです。



公開講演会  
「いのちの光のなかで  
～スピリチュアルケアの実際～  
パストラルケアを背景として」  
原 仁 (ルーテル・医療と宗教の会 世話人代表)

今までもターミナルケアは医療と宗教の会のキーワードのひとつでした。そこでは医療者側と

患者家族の思いが語られました。もう一つの視点、病院チャプレンの働きが今回のテーマです。医療からみればターミナルケアですが、病院チャプレンの担う死を目前にした人へのスピリチュアルケアを公開講演会で取り上げるのは極めて当然の成り行きでした。

7月9日に東京四谷の幼きイエス会ニコラバレホールで開催された公開講演会は「いのちの光のなかで」スピリチュアルケアの実際、パストラルケアを背景として」と題して、田中良浩牧師にご講演いただきました。ご存知のように、田中先生は稔台教会や熊本教会などで牧会されています。米国での牧師としてのご奉仕の後、独立型ホスピスのピースハウス病院のチャプレンを7年間勤められ、2015年5月より救世軍ブリス記念病院チャプレンとして、主にホスピス病棟でのケアに

に従事されています。まさにスピリチュアルケアの実際をお話しいただける最適な牧師です。

ご講演は田中先生ご自身の信仰の原点を語られ、そして私は何故、この務めに向かう衝動に動かされるのか、という問いに答えるように「人ではなく、キリストが癒してください」と宣言されています。キリスト教徒が多くない日本人の心にも、霊的な意識は確かにあると民族学や歴史学の文献を基に指摘されました。チャプレンの職務は、患者様と共にいること、聴くこと、そして祈ること、



### ⑤ レイトゥルギア (礼拝の民) その(1)

宮本 新

明治の初期、キリスト教を警戒した政府が密かに人を遣り監視した資料が残っています。その中に次のような記録が残されています。「初メニ歌ヲトナヘ、次ニバイブルヲヨミ、祈禱ヲシ、神ニ約シテノチ、事ヲ議ス」。ある宣教師たちの会議の様子が記されています。祈り、そして神に約束をして物事を決めていたので、このような礼拝や集会の光景は今日まで津々浦々の教会で見られるものです。当時それを目撃した人が安堵したのか、危険を察知したのかは想像するほかありませんが、私たち自身は「礼拝すること」にどんな意味や次元を見出しているのでしょうか。

著名な宗教学者・島薮進は、アジアの広範にわたる「礼」の伝統はプロ

テスタントの宗理解と異なることを指摘しました。キリスト教とりわけプロテスタントから派生した世俗化論が聖と俗を分けることに力点があるのに対し、礼の文化は両者を結合し調和する文化だと論じ、「礼に宿る超越性」に意義を認めているのです。とても興味深い論ですが、そのプロテスタントの教会もまた宮々と続けているのは礼拝です。

キリスト教の礼拝を形づくる言葉にレイトゥルギアがあります。リタジー(典礼)の語源にありませんが、元々はギリシャ・ローマ時代に人々が共同で行う公の奉仕や務めを意味する言葉でした。キリスト者の群れは、各々「私」を神の前に差し出し、祈り、讃美し、み言葉に聴くことをもって「つとめ」としたので、そのようなキリスト礼拝には世俗の公/私の意味すらも根源から組み替えていく力があることが見出されました。この世界や命あるものは天において何であり、はじまりに何があり、終わりに何が待っているのかを、イエス・キリストを礼拝することを通じて、知らされてきたのです。

ルターは「そのような信仰は人間の力によるのではない。神がわたしたちのうちに信仰をつくるのである」と言ったといえます。この世の真つただ中で行われる礼拝もまた同じことであるように思えます。

神を前にして生きることは究極のパブリック・パフォーマンスなのかもしれない。主を知るところを、世界を知り、自分たちを見つめていくことでもあるからです。

### 熊本地震支援 第1期募金報告

「熊本地震」により被害を受けられた方々に慰めがありますように。復興への道のりは始まったばかりであり、多くの困難が伝えられておりますが、立ち上がる方々に励ましと、それに寄り添う教会の歩みに祝福が神から豊かにありますように祈ります。

支援募金(第1期)のご報告をいたします。8月3日現在、国内外より、連帯献金として①生活支援4307171円、また②建物支援17865088円が寄せられました。被災地と全国各地の強い連帯を感謝いたします。今後、建物支援に絞った支援の呼びかけをいたします。(事務局)



## 宗教改革500年に向けて ルターの意味を改めて考える

(新シリーズ5・通算52)  
ルター研究所所長 鈴木 浩

ペラギウス主義とは、アウグスティヌスと激しい論争を交わした5世紀の異端であった。その主張は、人間は救いに与るのにふさわしい働きをしなければならぬ、ということができる、という点にあった。そのような力を人間に与えてくれたのが、神の恵みであった。

他方、オッカム主義の義認論は、人間の行いによることは非常に些細なことで、到底救いには値しないが、それでも、神はそれを義認にふさわしいものとして受け入れてくれる、という点にあった。それが、神が恵みによって人間と交わしてくれた契約であった。

しかし、それでも人間の側には、「やらなければならぬこと」があった。「人事を尽くす」ということである。それが、義認の恵みにあずかる「条件」であった。ルターも当初は、救われるためには、人間にはしなければならぬことがある、と考えていた。

ただし、巡礼に行くとか、聖遺物を拝観するとか、施しをするとかいった、当時の教会の「功績」をめぐる教えは何の役にも立たないとも考えていた。

ルターが考えた「人事を尽くす」とは、律法の前の自分の無力さを痛感し、ひたすら神にすがりつき、神に叫び声を上げることであった。しかし、それでもそれは「人間がなすべきこと」という枠内に入っていた。だから「人事を尽くす人」に、神は恵みを拒むことはない」という構想の枠内に留まっていたことになる。

ルターは、この枠をいかにして突破したのか。突破口はどこにあったのであろうか。何をきつかけとして、その突破が実現したのであろうか。それが、ルターの神学の発展の物語となる。

ルターは神学博士となった翌年、神学部で詩編の講義を始めた。1513年のことである。そしてそれが1515年まで続いた。



## ルター、バッハ、 宗教改革500年。

M. Luther & J.S. Bach 徳善義和

### ① 主にあって生き、 また死ぬ

「神の時はいともよき時」

中世のラテン語の歌をドイツ語にして、「生のただ中であつてわれわれは死のうちにある」という讚美歌をルターは残したが、他方『詩編90編講義』の序文では、この歌を律法の歌と呼び、「しかし『死のただ中であつてわれわれは生の内にある』とわれわれは福音の歌を歌おう」と書いて、生と死の福音的逆説を説いた。

生から死へ、愛する者を送るとき、哀惜の念強く、悲しみにうち沈むのは人の常である。愛娘を天に送って、今は神の身許にいと知つていても悲しい、とルター自身も友人に漏らした。

しかしバッハにも葬儀を背景とするものには、葬儀の讚美歌「イエスよ、わが喜び」(教会讚美歌322)に基づきつつ、ローマ8章の聖句を配したライプツィヒ時代のモテットが残っている。

「神の時はいともよき時」(KK106)を初めて聴いたのは鈴木雅明のバッハコレギウムジャパンが活動を始めた初期、御茶ノ水の小さいセンターの避難者さん方の支援、ルターバックスカフェの運営等に力が割かれてきたが、7月から8月にかけては、自宅の片付けが出来ない方、引越

ホールだったが、その後大ホールでカンタータ全曲の演奏を続けて、それを完成させた。

この「神の時はいともよき時」はバッハのごく若い日の作品、ミュールハウゼン時代で22歳の頃と考えられている。愛する伯父の葬儀に臨んでのカンタータだったが、少年の日に母と父を相次いで失った青年バッハの、死といのちへの思いのこもったカンタータである。古い契約によるのではなく、イエスのみ手に委ねて、「今日あなたは私と共にパラダイスにある」というみ声を聴く、というそのみ声を心に

聴きたい。

訃報に接すると、バッハのこの2曲のいずれかを心に想い、あるいは聴いて祈るのを私は常とする。自らが身許に召される時も、会衆の讚美歌は「イエスよ、わが喜び」、そして、このカンタータが響くことを願つてもいる。

GOわかちあいプロジェクトと協働し、わかちあいプロジェクトが雇用している専従者と、福岡地区(および下関)から交替で熊本入りする牧師らがチームを組み、被災家屋の片付け、危険なブロック塀を解体しダンブでガレキ処理場に運搬するなどの肉休労働に取り組んでいる。

熊本市内は、少しずつ危険家屋の解体がすすんで更地が増え、建物の補修工事がすすんでいく様子が見込みである。

みなさんの温かいご支援に感謝するとともに、これからも被災地にある教会と被災者の方々のために、ご支援とお祈りを願う次第である。

被災後の緊急支援物資の配布からスタートして、5月〜6月は諸教会のカフェ活動や掃除用具の配布、炊き出し活動、健軍教会・広安愛育園/LEC

震災から4ヶ月がすぎ、熊本の被災地支援は新たな局面を迎えようとしている。これまで緊急支援として行われてきた活動は、避難者さん方が避難所から仮設住宅に移っていくにしたがって、少しずつ中期的な生活支援に形を変えていくことになるだろう。

ルーテル教会の救援対策本部である「できたしこルーテル」の働きも、被

### 熊本地震九州教区 対策本部活動報告

九州教区長 小泉 基



被災から3ヶ月後の益城町



危険なブロック塀の撤去にあたる



大きな被害を受けたルーテル阿蘇山荘

### 教会讃美歌増補版について

中山康子  
(讃美歌委員・むさしの教会)

「歌は世に連れ、世は歌に連れ」という言葉で始まる歌番組がありました。

賛美歌にしても同様です。2000年近く歌い継がれている賛美歌もありますが、生まれてすぐ消える賛美歌もあります。

2017年のルターの宗教改革500年の記念事業の一環として讃美歌委員会が『教会讃美歌増補版』作成のためにも以下の3分野を念頭において作業中です。

1. マルティン・ルター作と考えられている賛美歌

を極力和訳し歌えるようにします。日本で発行されている賛美歌集は多々ありますが、ルター作の賛美歌がすべて収められているわけではなく、ルーテル教会が手がけなければならぬ作業だと考えます。

一層広がります。これらの翻訳作業には多くのかたの加勢をお願いしています。そのほか、教会暦に沿った賛美歌の補充、こどもたちが歌える歌、鍵盤楽器用の伴奏譜にギターコードを付けるなど多岐の分野にわたって200曲程度を検討しています。

2. 日本語の新作賛美歌を募りました。地球環境保護、災害からの復興支援、女性の社会進出、いじめ、海外宣教など、40年前の『教会讃美歌』作成後に必要になった分野の賛美歌を補充します。

今年5月の全国総会に合わせて、作業が整った32曲を載せた『教会讃美歌増補版 試用版』を発行し、全国の牧師・代議員に配布しました。

ルーテルアワー  
biblestudy.jp

「ルーテルアワー」のサイト  
【てあなの部屋】より  
⑧神様は今もあなたを大切にされています  
伊藤早奈

「神はお造りになったすべてのものを御覧になった。見よ、それは極めて良かった。」(創世記1:31)

あれもできない、これもできない。何も役に立たない私なんかがどうして生きているのだろう、と。

でも、立ち止まって考えると、そのような自分にさえも、新しくできるようになったことも実はたくさんあることに気が付きます。

の感謝できます。神様は一人一人の人を造られました。私が立派に造ったのだから勝手に「育ちなさい」と言っておかれるわけではなく、私には私があることに気が付きます。

惨めな時でも、誰にも存在を認めてもらえない時でも、神様にとつてあなたは大切な大切な存在です。神様は造られた全ての一つ一つを大切にしておられることを知っている私たちだからこそ神様は支え、全てに愛の心を配るようになります。全てを人に委ねられたのです。

さい。  
東教区では9月19日13時半から小石川教会を会場に、「教会讃美歌増補版を知ろう」というテーマで「秋の礼拝と音楽セミナー」

を予定しています。参加費無料、申し込み不要です。詳細は、東教区教育部長の市原悠史牧師にお尋ねください。



『教会讃美歌増補版 試用版』

### 心の復興を後押し 「祈りのコンサート・大分」



野村陽一(大分教会)

東日本大震災から5年半、今も大分教会を会場に開催されている支援コンサートがある。宮城県東松島市にある「すみちゃんの家」を支援してきた。これまで45回の開催、出演した個人・団体は60超、人数にすれば300人を超える。

聴衆にいたっては少なくとも3500人を超す。義援金も400万円を超えた。被災地から遠く離れた九州の小さな教会が、なぜ今も支援し続けられるのか、その経緯を紹介したい。

ブル・ルーチェであり、大分県下のトップクラスの音楽家、管楽器奏者、弦楽器奏者、ピアノリストで編成されていた。皆、自分ができることは何かを模索していた。彼らは出演者の中核をなしていくが、以降の出演者も同様で、自分にできることは何かを問いつつ、こつこつと出演して下さることでコンサートは継続できた。

「明日が見えず心折れそうな時、大分の人たちが応援している」。このことが慰めに、励みや力になると、施設の方が言ってくたさる。支援する、される関係というより、目に見える互いに支え合って生きる関係をつくられたのかもしれない。



### 公告

この度、左記の行為を致しますので、宗教法人法第23条の規定に基づき公告致します。

2016年9月15日

信徒その他利害関係人各位

宗教法人  
日本福音ルーテル教会  
代表役員 立山忠浩

合志教会土地無償貸与  
所在地  
熊本県合志市合生

所有者  
日本福音ルーテル教会

地番 39327番4  
地目 宅地  
地籍 16309・91m

理由  
社会福祉法人菊池愛泉  
会「愛泉保育園」の幼児保育事業のために地上権を設定し、土地を無償貸与する。貸与期間は契約締結日から30年間とする。

連絡情報  
掛川・菊池教会の掛川集会所  
電話 FAX 変更  
電話 FAX 共用 05371-5410147

松田繁雄牧師(会堂建築に伴う  
牧師館時転居)  
T1333-0056  
東京都江戸川区南小岩3-10-10  
ストリートハウス「まきは」  
7  
電話090-6423-1857

重野信之牧師(定年教師)  
T470-0111  
愛知県日進市米野木町南山98-7-88  
シルバークホーム「まきは」  
電話090-6423-1857

渡邊進牧師(定年教師)  
自宅電話049-1277-135  
66